

立正大学心理学部 公開講座



お申し込みは
こちらから

よさこい系祭りにみる 日常と非常 の新しい形

～心理学と社会学の対話～

開場 13:00

10/12 土 2024

13:30-15:00

会場：1151教室

講師紹介

[上智大学 総合人間科学部 社会学科 教授]

は が まなぶ
話者 芳賀 学

[立正大学 心理学部 臨床心理学科 特任教授]

ひさ た みつる
討論者 久田 満

よさこい系祭りにみる日常と非日常の新しい形

～ 心理学と社会学の対話 ～

著名な都市社会学者、松平誠は、現代社会を「ハレハレ社会」と呼んだ。伝統的な日本社会において、日常（ケ）と分離されてきた非日常（ハレ）が拡大増幅されて、現代社会では日常の中に充満しているという認識だ。確かに、ご馳走・お洒落な服装・音楽・踊り・酒など、従来ハレを構成していた諸活動の多くは日常的に存在するようになった。もはや日常と分離された非日常に存在の余地はないようにもみえる。

しかし、その一方で、伝統的な非日常を吸収した新たな日常の拡大は、新たな非日常を生み出している。この講演では、よさこい系祭りなど、若者を中心に支持され拡大している新種の祭りを取り上げて、現代社会における日常と非日常の新たな関係について、宗教社会学とコミュニティ心理学との対話を通して理解を深めていく。

講師紹介

話者

は が まなぶ
芳賀 学

上智大学 総合人間科学部
社会学科 教授



専門は宗教社会学・文化社会学。専門社会調査士。東京大学大学院で学び、東京学芸大学を経て、現在、上智大学総合人間科学部社会学科教授。大学院時代に宗教学者島蘭進の指導の下、新宗教青年部の実地調査に携わって以来、新宗教、精神文化、祭りなど、若者が熱心に関わる活動のフィールドワークを積み重ねてきた。

討論者

ひさ た みつる
久田 満

立正大学 心理学部
臨床心理学科 特任教授



専門はコミュニティ心理学。臨床心理士・公認心理師。上智大学文学部心理学科卒業後、慶應義塾大学大学院社会学専攻修士課程、博士課程を経て、東京大学医学部助手、東京女子医科大学看護学部助教授、上智大学総合人間科学部教授を経て、2024年4月より立正大学心理学部特任教授。東日本大震災の発生直後から主に福島県内の県立医科大学、病院、中学校などにおいて支援活動に携わる。

公開講座お申し込み方法

募集期間

9月1日(日)～9月17日(火)

●お申し込みの受付は、9月1日(日)から開始致します。

対象

定員

16歳以上の方 100名

受講料

無料

申込方法

品川区ホームページの電子申請ページからお申し込みください。



共催

立正大学心理学部 / 品川区
/ 日本コミュニティ心理学会

問合せ先

- 品川区文化観光戦略課 生涯学習係
TEL 03-5742-6837
- 立正大学心理学部事務室
TEL 03-3492-6196

※参加申し込みにより提供いただいた個人情報は本講座の運営のみに使用いたします。